

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 22 日 作成

総合計画体系	事務事業名	介護補助員配置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	中島正剛
	施策	19	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	谷 和浩
	基本事業	61	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	2235
					法令根拠	なし			

予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	3	事業連番	10614	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11	
														コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 H15 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 各学校における特別支援学級在籍児童生徒数に応じて、有資格者の介護補助員(養護教諭、保育士、看護師等)を1クラス障害児3名につき1名を配置し、学級担任の補助として障害児の学校生活においてのトイレの介助、身辺の世話など支援を行う事業である。☆介護補助員については、市社会福祉協議会と委託契約を行い、社会福祉協議会より派遣してもらっている。委託期間は4月1日～翌年3月31日の1年間である。
【業務の流れ】
 委託契約事務、社会福祉協議会から業務報告受理
【主な予算費目】 委託料(補助員の人件費、社会福祉協議会手数料(1時間当り1,260円))

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	9名配置(西南小2名、西東小3名、合志中1名、西南中3名)	12名配置(西南小2名、中央小1名、西東小4名、合志中1名、西南中4名)
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 人 → ア 介護補助員派遣数
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	ア、小中学校における特別支援学級(肢体、情緒障害、知的障害)在籍児童生徒 イ、特別支援学級の担任教師	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 特別支援学級在籍児童・生徒
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ア、支障なく授業を受けられるようになる イ、支障なく授業を進められるようになる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % → ア 支障なく授業が受けられた日数の割合 % イ 支障なく授業が行えた日数の割合 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	学力が身につけている	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 標準学力において全国標準値を50とした場合の各学校の総合学力の割合 偏差値

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	9,526	11,114	14,402	14,402	19,203	19,203		19,203
	(A) 事業費計		千円	9,526	11,114	14,402	14,402	19,203	19,203		19,203
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		3
延べ業務時間		時間	24	24	24	24	24	24	24		
(B)人件費計		千円	95	96	96	96	96	96	96		
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,621	11,210	14,498	14,498	19,299	19,299	19,299	0	
活動指標	人	6	7	9	9	12	12	12	12	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	人	46	44	56	64	56	56	56	56		
成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100		
上位成果指標	偏差値	52.1	52.6	53	53.1	53.5	54	54	54		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 特別支援学級における1クラスの在籍児童数が3人以上のクラスが増え、一人の担任では十分な学習指導や生活指導に支障をきたすようになってきたため、学校現場や保護者の要望により、平成15年度より、県の緊急地域雇用創出特別基金事業を活用し、障害児の学習補助、介護補助等を行う教員補助を配置した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 特別支援学級在籍児童生徒数は年々増加の傾向にある。(肢体不自由児学級・情緒障害児学級・知的障害児学級)保護者においても、以前のように養護学校で学ぶより、普通学校で健常者と一緒に学ばせたいという思いが強くなっている。
 また、平成19年度から特別支援教育が正式に始まり、従来の特別支援学級該当の障害児はもとより、現在普通学級に在籍する児童生徒の中に約5%存在するとされるLD(学習障害)・ADHD(注意欠陥多動性障害)等の障害を持つ児童生徒の学校を挙げての学習支援、生活支援への取り組みがなされることである。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 児童生徒、保護者からの意見は聞いていない。
 学校においては、肢体不自由児や情緒障害児に対しての介護補助員の配置により、当該児童生徒にとって十分な学校生活を送ることができ、担任も本来の障害児教育に力を注ぐことができ、介護補助員の配置は欠くことの出来ないものとなっている。

事務事業名	介護補助員配置事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・特別支援学級在籍児童生徒を学校生活において介護することにより、①支障なく授業を受けられるようになる ②支障なく授業を進められるようになることで教育の機会均等が保障され、結果の「知・徳・体・食における教育が充実し、生きる力が身につけている」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 本市において「子育て支援日本一のまちづくり」の目標があり、小中学校における特別支援学級(肢体、情緒障害、知的障害)在籍児童生徒及び特別支援学級の担任教師が、支障なく授業を受けられるようになったり、支障なく授業を進められるようになることに税金を使うのは、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 学校生活における介護が必要な児童生徒であり、対象は特別支援学級在籍児童生徒でよい。 意図については、学校生活に限られるので現在の意図でよい。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現在3人以上のクラスになれば一人置いているが、2人以上とすればより細かな介護ができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 特別支援学級在籍児童生徒の数は年々増えており、廃止・休止の場合、特別支援学級担任の負担や、保護者の負担につながり、十分な障害児教育が実施できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 現場が学校ということがあり限定されるので統廃合・連携が出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在、社会福祉協議会に委託しているが、市で直接雇用すれば社会福祉協議会の手数料分は削減できることになる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 正職員の業務時間については必要最低限の時間であり削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 対象者は、特別支援学級在籍児童生徒で少人数であるが、教育の機会均等の保障から、受益機会・費用負担については公平・公正であると考えます。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>② 有効性については、現在3人以上のクラスになれば一人置いているが、2人以上とすればより細かな介護ができる。</p> <p>③ 効率性については、現在、社会福祉協議会に委託しているが、市で直接雇用すれば社会福祉協議会の手数料分は削減できることになる。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
<p>① 現在3人以上のクラスになれば一人置いているが、2人以上とすればより細かな介護ができる。</p> <p>② 現在、社会福祉協議会に委託しているが、市で直接雇用すれば社会福祉協議会の手数料分は経費が削減できる。</p>																							
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>① 2名に1名の配置の場合、補助員増となり委託料が増大し、財政面で課題がある。</p> <p>② 市で直接雇用は可能であるが、特別支援学級児童生徒数は年度末にならないと確定せず(転出入がある為)、いつ1名増や1名減になるかわからない。その場合、緊急な雇用又は解雇が生じるので事業に支障が無い様に対応できるかが課題である。</p>																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	5	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)